

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 あんじゅ		
○保護者評価実施期間	R8年 1 月 7 日		R8年 1 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	R8年 1 月 7 日		R8年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2 月 24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達一人一人の特性やニーズに合わせて、計画的に支援内容を職員全体で立案、実施している。課題に対してのねらいを明確にし、支援に臨んでいる。	毎日のミーティングの際に、その日の活動について、個々の支援についてを細かい所まで話し合いをしている。また、活動や支援の振り返りを行うことで子ども達の成長発達を促せるよう工夫している。	子ども達の発達を促す活動の研修機会を増やし、さらに支援力を向上させていきたい。
2	法人内に通信制の高校があり、異年齢とのかかわりを持っているようにしている。	・事業所の子ども達と高校生の、交流の機会が設けられている。 ・法人内で合同研修を実施し常に学べる環境がある。	様々な人や年齢の違う人との関わりを持つ中で、子供の成長を幅を広げていき、共に学び合いができる環境を作っている。
3	地域の施設を利用し、子供達の成長を図っている。	毎月地域の図書館へ行き、子供たちの好きな絵本や子供たちに必要な絵本を見ながら情緒面の成長を図るとともに、地域の施設を利用することで様々な人に触れコミュニケーション力等の習得を図っている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との同年代の子ども達との交流をする機会が持てずにいる。	事業所外での活動がなかなかできない事があり、検討中。	年間の季節行事の見直しをし、地域との交流が出来るよう検討する。
2			
3			